



2015年度活動報告書

2015年4月～2016年3月

1 相談支援活動

相談支援の拠点として、「あすからの暮らし相談室・盛岡」を盛岡市茶畑に設置し、岩手県内の被災者など生活に困難を抱える方を対象に、面接、電話、訪問等により相談及び支援を実施した。また、宮古市等から委託を受けて宮古市社会福祉協議会が宮古市に設置している、生活困窮者相談支援機関「暮らしネットみやこ」に職員2人を配置し、被災者等を対象として宮古地域における相談支援活動を行った。

相談支援の手法としては、生活に困窮している住民に対し、地域資源と連携しながら、個別的、継続的、制度横断的、伴走型、寄り添い型の生活再建支援を行った。

2015年度の活動数は、5,167件(面接相談504件、電話相談1,698件、訪問相談222件、関係機関との連携2,743件)、相談室訪問者858人、新規相談者数259人であった。

2015年7月から、NPO法人パノラマ福祉館と連携し、がん患者就労支援プロジェクトに参画した。2015年8月からは、こどもや学生を対象とした定期的な相談会を開始した。

2 社会的包摂推進活動

(1) 「つむぎサロン・みやこ」事業

被災者同士の交流と自立支援、相談の掘り起しにつながることを期待し、SAVE IWATEが行う復興ぞうきん事業(支援物資のタオルを被災者が仕立ててSAVE IWATEが買い上げる事業)と連携し、「つむぎサロン・みやこ」を2012年5月から毎月開催している。今期の利用者数のべ82人。サロンが被災者の居場所になっているだけでなく、参加者自身が生活困難を訴えたり、参加者が困窮者をつなげてくれたりする効果が出ている。

(2) 「あすくらカフェ」事業

生活困窮者が生み出されづらい社会を実現するため、いいまち、いい暮らしを創る！をテーマとした「あすくらカフェ」を2012年12月に初開催。2015年7月には、「秘めた才能がキラキラするとき」として、それぞれの才能を活かした生き方の創造をテーマに実施。参加者数13人。

(3) 「あすくら・つながるサロン」事業

利用者間の交流を促し、孤立を防止するとともに、社会参加のきっかけとするため、「あすく

ら・つながるサロン」を 2015 年 8 月から毎週開催。今期の参加者数のべ 133 人。参加者は多様で、多世代、異環境の人々の交流の場となるとともに、参加者のエンパワメントを引き出し、生活再建のステップアップにもよい影響を与えている。

(4) 出前講座事業

社会的包摂理念を広く一般に伝え、事業への協力を促す目的及び内容で出前講座を開催。希望に応じ、講師を派遣している。今期の実施回数 22 回。受講者 755 人。受講者からはおおむね好評を得ており、開催依頼が増加している。

(5) ボランティア事業

社会的包摂理念を広く普及させていくため、活動を手伝うボランティアを 2012 年 8 月から募集し、受け入れている。今期のボランティア活動実績 8 人 11 回。就労困難者、社会的孤立者の社会参加、就労体験の場になっている。

(6) フードバンク事業

緊急的な食糧支援が必要なケースに対応するため、NPO 法人フードバンク及び 2015 年 9 月からはコープフードバンクと連携し、必要な方への食糧支援を適時実施した。受入件数 25 件、支援件数 119 件。また、NPO 法人フードバンクに理事を派遣し、フードバンク事業、フードファーム事業、その他生活困窮者支援事業に参画した。

(7) 「パソコン教室」事業

支援対象者に対する就労意欲の向上を図るとともに、パソコン技能を高める目的で「パソコン教室」を随時開催している。今期の開催実績 6 人 6 回。

(8) 「あすくら学校」事業

震災後のくらしに明るい兆しが見えない不安が地域を襲っている現状を踏まえ、住民とともに、地域でよりよく生きていくための選択肢を増やすアイデア等を学び考えるとともに、震災後のくらしのモデルロールを構築し、あすからのくらしに展望を持つ一助とするために 2014 年 1 月から実施。幸せの学び舎として、「学びともに生きる学級」、「聴き書き実践学級」、「分かち合いビジネス学級」を設置し、住民が参加できる基礎講座(座学と実技)を実施した。今期の実施回数 5 回 98 人参加。また、参加者同士の交流及び情報交換に資するため、2015 年 8 月からメーリングリスト「あすくらネット」を開設・運営している。

(9) 「ぐるぐるマーケット」事業

「ギフト経済」をくらしの中に取り込んで、互いが豊かに快適に生きていくことを目指すため、2016 年 3 月から開始。家庭などに眠っている使わなくなったもの、誰かにギフトしたいものなどを持ち寄って、自分が必要なものを自由に持っていける仕組み。

3 地域ネットワーク活動

個別の相談支援においては、生活困窮者自立相談支援機関をはじめ、必要な社会資源と適宜連携し、相談支援事業を通じて、地域のネットワークづくりを行っている。また、適時、各社会資源と連携のための協議を行った。各社会資源にはチラシ・ポスターを配布し、活動への協力を依頼した。2015 年 8 月からはメーリングリスト「あすくらネット」を開設・運営し、生活困窮者支援等に係る情報交換の場を提供している。盛岡コミュニティソーシャルワーク懇話会に参画したほか、2016 年 2 月から盛岡市生活困窮者自立支援制度が行うくらしの相談ネットワーク会議に参加。



4 その他の活動

報道機関に対して活動に係るプレス・リリースを行っている。また、視察・取材対応を通じて、活動の実情、被災者の状況などを伝えた。

各ドナーとは、助成金の申請、事業の報告のみならず、適宜連携し、情報交換、セミナー等への参加等をした。

職員の資質を高める研修には随時積極的に派遣した。また、ソーシャルワークに係る研修を強化し、人材育成に努めた。

釜石市及び花巻市を拠点とし、被災した母子等に対し支援を行っている NPO 法人及び石巻市、仙台市で被災した若者の就労支援や社会参加支援等を行っている NPO 法人に対し、当方の知見を技術移転するとともに、相談対応等について、スーパーバイズを行った。



●くらしのサポーターズ 活動統計

2015年4月～2016年3月

項目			合計
	盛岡	宮古	
活動数	3,178	1,989	5,167
面接相談	173	331	504
電話相談	1,150	548	1,698
訪問相談	73	149	222
関係機関との連携	1,782	961	2,743
相談室訪問者	577	281	858
新規利用者	168	91	259
支援対象者	80	31	111
ハローワークとの連携	1	140	141
就職決定	4	13	17
社会参加	12	11	23
プラン作成	0	16	16
プラン評価	0	7	7

